

労働市場の概要（平成26年7月）

岡山労働局 職業安定課
Tel 086-801-5103

雇用情勢

平成26年7月の有効求人倍率(季節調整値)は、1.49倍となり、前月に比べ0.01ポイント低下。

前月と比較して、有効求人数(季節調整値)が2.8%減少し、有効求職者数(季節調整値)でも1.9%減少した。また、新規求人数(季節調整値)が7.1%減少し、新規求職者数(季節調整値)でも2.8%減少した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、製造業(8.5%増)、宿泊業・飲食サービス業(13.3%増)、医療・福祉(15.8%増)、サービス業(他に分類されないもの)(4.6%増)で増加し、建設業(4.9%減)、運輸業・郵便業(4.8%増)、卸売・小売業(1.2%減)で減少したが、全体では対前年同月比4.5%増と49ヶ月連続で増加した。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で9.3%減と20ヶ月連続で減少した。有効求人倍率(季節調整値)は、前月に比べ0.01ポイント低下したが、前年比較では改善が続いており、県内の雇用情勢は、改善している。

1 有効求人倍率(季節調整値)

7月の有効求人倍率は1.49倍となり、前月に比べ0.01ポイント低下。

[過去最低:昭和38年1月の0.51倍]

(1)有効求人(パートを含む)

○ 7月の有効求人は48,682人で、対前年同月比(原数値比較)で11.2%増加し、対前月比(季節調整値比較)では2.8%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で51ヶ月連続での増加となった。

(2)有効求職(パートを含む)

○ 7月の有効求職は34,238人で、対前年同月比(原数値比較)で6.7%減少し、対前月比(季節調整値比較)でも1.9%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で18ヶ月連続減少となった。

(3) 7月の正社員の有効求人倍率は0.86倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

7月の新規求人倍率は2.16倍となり、前月に比べ0.10ポイント低下。

(1)新規求人(パートを含む)

○ 7月の新規求人は18,228人で、対前年同月比(原数値比較)で4.5%増加し、対前月比(季節調整値比較)では7.1%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)でも49ヶ月連続の増加となった。

○ 産業別新規求人状況(対前年同月比)は、

建設業 4.9%の減少(17ヶ月ぶりの減少)

製造業 8.5%の増加(13ヶ月連続で増加)

運輸業・郵便業 4.8%の減少(11ヶ月ぶりの減少)

卸売・小売業 1.2%の減少(2ヶ月連続で減少)

宿泊・飲食サービス業 13.3%の増加(9ヶ月連続で増加)

医療・福祉 15.8%の増加(14ヶ月連続で増加)

サービス業 4.6%の増加(20ヶ月連続で増加)

(2)新規求職(パートを含む)

○ 7月の新規求職は7,991人で、対前年同月比(原数値比較)で9.3%減少し、対前月比(季節調整値比較)でも2.8%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)は20ヶ月連続の減少となった。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は556,330人で、対前年同月比1.2%の増加となり、55ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は、8,389人で対前年同月比は11.6%減少し、受給率は1.5%であった。